

自立生活センター・いこらー 設立集会報告

私たち自立生活センター・いこらーは、泉州地域における障害者の自立と社会参加を推進していくことを目指し、障害当事者が中心となって障害者の自立支援を行う自立生活センターを立ち上げるべく、一昨年夏より準備を進めてきました。昨年（2011年）11月にNPOの認可を受け、翌2012年1月より障害者自立支援法における介助派遣を先行してスタートさせ、この4月より本格的に開所するに至りました。しかし、まだまだこの地域での認知度も低いことから、少しでも多くの方に私たちの活動のことを知ってもらうことが必要と考え、7月1日（日）岸和田市立浪切ホールにて設立集会を開催しました。

当日は、休日です。雨という悪天候ということもあり、そんなに来てもらえないんじゃないかと心配していましたが、集会がスタートして間もなく、大きな会場に溢れんばかりの参加者に来ていただくことができ非常に感激しました。

今回、設立集会を開催させてもらった目的の1番目は、先ほど書いたようにこの地域の方に、いこらーのことを知ってもらうことですが、2番目の目的として、たくさんの障害者の人たちに来てもらって、「世の中には元気な障害者がこんなにもたくさん居るんだ！」ということはこの地域の皆さんに知ってもらいたいという思いがありました。今回、300名を超える参加者に来ていただきましたが、その内車イスの方が100名近く参加していただけたのでその目的は果たせたんじゃないかと思えます。

全体の内容ですが、1部：設立集会、2部：記念講演、3部：パネルディスカッションという構成でおこないました。

1部の設立集会では、主催者を代表して特定非営利活動法人自立生活センター・いこらーの理事である大阪体育大学の菅野教授より開会のあいさつがあり、続いて岸和田市福祉政策課の小林課長、財団法人大阪府身体障害者福祉協会の嵐谷会長、障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議の西尾事務局次長の3名の方より来賓あいさつをいただきました。その後事務局東谷より、2年に及ぶ、いこらー設立の経過と事業計画を説明させていただきました。第1部の最後は、運営委員ならびに事務局スタッフの紹介と事務局3名の決意表明をして締めくくりました。

第2部は、自立生活夢宙センター代表の平下さんによる記念講演で「自立生活センターがええねん！」というテーマでお話いただきました。障害を否定し健全者に近づくよう突っ張っていた時代や、自立生活運動を担う原点となっている重度障害者の仲間との出会いの話などご自身の生い立ちの話から、自立生活センターで活動していく上で大切にしていることを話していただきました。中でも、「障害者自身が覚悟を決めて活動していかないと社会なんか変えられへんねや！！」という言葉が印象的でした。平下さんのお話は、とてもおもしろく、それでいて熱く自立生活運動の必要性を訴えていて会場にいるみんなを惹きつける素晴らしいお話でした。

第3部は、「泉州を盛り上げるためには」というテーマで、ODF（大阪障害フォーラム）の事務局を担っている、雨田さん（きょうされん大阪支部事務局長）、宮崎さん（NPOほわほわの会代表理事）、三井さん（自立生活センター・リアライズ代表）、東谷（いこら一）によるパネルディスカッションをおこないました。初めに、自己紹介を兼ねてそれぞれの普段の活動の紹介をしてもらって、泉州地域の障害者の置かれている現状を変えていくにはどういう取り組みが必要かを話し合いました。それぞれの団体の主な対象者の障害種別に違いがあり、課題となることも違っていますが、この地域であたりまえに暮らしていきたいという思いは同じであることから、泉州地域を「諦めなくていい地域に変えたい」逆に「モデル地域」となれるよう、この会場を泉州地域の自立障害者だけで埋め尽くすことができるよう力を合わせて盛り上げていくことを誓ってパネルディスカッションを終えました。

以上、簡単ではありますが設立集会の報告とさせていただきます。今回、悪天候にもかかわらず、会場まで足を運んでいただいたすべての方に関係者一同、心より感謝申し上げます。みなさまの熱い期待に応えることができるよう、力を合わせて頑張っていきたいと思えます。これから、一人でも多くの自立障害者を生み出し、泉州地域を誰もが住みよい地域に変えていくことが、みなさまへの一番の恩返しだと感じています。

これからも、私たち自立生活センター・いこら一をよろしく願います。

【文責：東谷】





